

## 会 議 録

会議の名称	令和7年度 第2回 所沢市いじめ問題対策委員会
開催日	令和7年 7月31日(木) 13時30分から15時00分
開催場所	所沢市役所高層棟6階 604会議室
出席者の氏名	赤堀 侃司・神田 信彦・木村 幸子・小林 治・古山 智啓・高田 美智子 武弓 清貴・美甘 寿規
欠席者の氏名	及川 みさ子・桂川 泰典・山崎 雄一郎
議 題	3 協議及び報告 【公開】 (1) 健やか輝き支援室事業について(生徒指導教育相談訪問、生徒指導主任研修会) (2) 学校いじめ防止基本方針実行度評価について (3) 所沢市いじめ未然防止プログラムの進捗状況について 【非公開】 (4) 市内学校の状況について
会議資料	・次第 ・資料1 協議及び報告(1) 健やか輝き支援室事業について ・資料2 協議及び報告(2) 学校いじめ防止基本方針実行度評価について ・資料3 協議及び報告(3) 所沢市いじめ未然防止プログラムの進捗状況について 【非公開】 ・資料4 協議及び報告(4) 市内学校の状況について
担当部課名	教育委員会 教育長 岩間 健一 学校教育部 部 長 中田 利明 次 長 吉川 誠 学校教育課 担当参事兼課長 伊東 真吾 主幹兼健やか輝き支援室長 刈谷 和哉 指導主事 今井 知博 指導主事 宮岡 修平 指導主事 佐瀬 孝太郎 指導主事 小松 大祐 学校経営アドバイザー 田中 和貴 学校経営アドバイザー 川音 孝夫 学校経営アドバイザー 横須賀 邦子 生徒指導・いじめ問題対策員 伊勢 浩明 生徒指導・いじめ問題対策員 末竹 眞智子 教育センター 担当参事兼所長 大庭 真紀子 主幹兼教育相談室長 加藤 法祥 ー連絡先ー 学校教育課 04-2998-9238 教育センター 04-2923-2396

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局  教育長  委員長  事務局  委員長	<p><b>【公開】</b></p> <p>1 開会</p> <p>2 教育長挨拶 所沢市教育委員会・岩間健一教育長が挨拶を述べた。</p> <p>3 協議及び報告 条例第6条に基づき、対策委員会の会議は委員の過半数の出席により成立した。</p> <p>本会議は、個人に関する情報が含まれており、所沢市情報公開条例第25条2号に基づき、協議及び報告事項のうち（4）については、非公開にしたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、協議及び報告（4）は非公開で審議されることに決定した。</p> <p>傍聴者なし</p> <p>議事録の確定方法は、委員長の承認により確定することを確認した。</p>
事務局  委員 事務局  委員長  委員	<p><b>【公開】</b></p> <p>（1）健やか輝き支援室事業について（生徒指導教育相談訪問、生徒指導主任研修会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1に沿って説明した。</li> <li>・生徒指導・教育相談訪問では、校長のリーダーシップの下、初期対応の体制ができているか、継続した見届けをする体制ができているかなどについて確認した。</li> <li>・令和7年度第1回生徒指導主任研修会では、「命に関わる事故の防止」、「いじめの組織的対応と見届け」について確認し、「いじめを生まない環境づくり」について協議した。</li> <li>・「命に関わる事故の防止」では、児童生徒の自殺予防の通知を各学校に発出し、様々な策を講じることや、自殺予防週間等、児童生徒の自殺予防に関わる取り組みをするように確認した。</li> <li>・「心のエネルギープロジェクト」についての位置づけなどを伝え、命に関わる事故の未然防止につながることを確認した。</li> <li>・「いじめの組織的対応と見届け」では、事例を提示し、対応をどのように進めるかを考えた。</li> <li>・いじめを生まない環境づくりをどう進めていくか、各学校の実践や考えられる取り組みについて協議を行なった。</li> <li>・「校長のリーダーシップ」という文言を強調した趣旨というのは何か。</li> <li>・校長がリーダーシップを発揮し、学校として組織的にいじめ・不登校等の課題に対して日頃から対応を進めていただきたいという思いで、「校長のリーダーシップ」としている。</li> <li>・学校を経営していくにあたって、校長が全体の中で児童生徒を捉えているということが必要という意味だと考える。</li> <li>・教育相談員の担当者と生徒指導主任は協調的な関係ではない学校が、かつては多か</li> </ul>

<p>教育長</p>	<p>ったように思うが、現在はどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導の枠の中の一部分に教育相談が含まれているという位置づけであり、国や文部科学省と同様に本市でもそのように捉えている。実際に学校の中でも一体となって生徒指導に対応している。</li> </ul>
<p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者やPTAに対して、見守りのお願い等の依頼や指導は行なっているのか。</li> <li>・夏季休業明け直前に、市教育委員会から学校へ送付した内容を学校から保護者へ周知する予定である。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対して協力を求めると、誰かの目があれば、加害行為を踏みとどまるということもあると思うので、保護者と話をよくしていけるとよい。</li> </ul>
<p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの階層構造についての見方をもう少し教えてほしい。</li> <li>・法の定義が一番広い。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長は全ての学校教育についての責任を持つということだが、学校全体の雰囲気を持っている環境がその学校の風土であり、そういうものを広く捉えて対処していくことが重要。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例え、誰かを褒めたとしても、相手が嫌だと思ったら、この法の解釈だと、いじめと捉えられてしまう。いじめ未然防止プログラムでは、保護者や子どもたちにはどういものがいじめに当たるかを分かってもらえるようにしていく。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の自殺は増えている。他のリソースも使って重大事案を防いでいかないとならないのではないか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長のリーダーシップの下、スクールカウンセラーや相談員など、児童生徒に応じて、支援体制を検討している。外部機関との連携では、医療機関等と連携する必要がある場合には学校相談医に相談し対応を検討している。</li> <li>・市の方針の基、各学校が基本方針を作っている。今はどこの学校の基本方針の中にも、スクールカウンセラーや児童相談所、警察など他機関との連携が全ての学校の基本方針に位置づけられている。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p>(2) 学校いじめ防止基本方針実行度評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校いじめ防止基本方針実行度評価について資料を基に説明した。</li> <li>・生徒指導教育相談訪問において、学校いじめ防止基本方針の実行計画や自己評価に対して、各学校に指導助言をしている。</li> <li>・令和6年度に実施した学校いじめ防止基本方針実行度評価の結果について、資料に沿って改めて報告をした。</li> <li>・令和7年度学校いじめ防止基本実行度評価の計画書について資料に沿って報告した。</li> <li>・生徒指導主任研修会での協議では、児童生徒自身がいじめのない学校づくりに参画する意識を持たせていく取り組みについて報告し合った。</li> <li>・2月のいじめ問題対策委員会で報告をし、委員の皆様からご意見をいただきたい。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の報告の補足として、昨年、重大事態で報告をした報告書の中で、保護者からいただいた意見をきっかけに始めた。</li> </ul>
<p>委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に実施されている子どもたちの取組について教えてほしい。</li> <li>・現在各校からは計画書が出されている段階だが、児童生徒が主体的に話し合っ取り組めるようにしていく。</li> </ul>

委員	・保護者の意見を取り入れて進めているのがとてもよい。保護者を巻き込んでいただきたい。
委員	・各学校が課題を整理して問題を提起して、それに対しての目標を設定して評価をしていくということが非常よい。
委員長	・ピンクシャツデーについて説明していただきたい。
事務局	・ピンクシャツデーの説明を行った。
委員長	・傍観者を少なくする方法の合言葉から「やはた」という言葉もある。「やめて」「離れようその場から」「助けてよ、助けを呼ぼうよ」という言葉である。他に情報があったら、この会議に報告をいただけるとよい。
委員	・児童館でピンクシャツデーを重視していて、春休み頃ピンクシャツデーを兼ねて、まず人権教室を申し込んでくる児童館がある。
事務局	<p>(3) 所沢市いじめ未然防止プログラムの進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ防止講演会」について資料に沿って説明した。</li> <li>・「いじめ防止講演会」の動画を視聴した。</li> <li>・こどもたちの感想の中から、「距離感」、「距離」、「相手」、「加害者」といったワードの出現回数が比較的多くあることから、いじめ防止講演会がいじめについて深く考えるきっかけとなった。</li> <li>・今後は、いじめ未然防止プログラム作成に向けて、講演会のエッセンスを取り入れていきたい。</li> </ul> <p>【非公開】</p>
事務局	(4) 市内学校の状況について
事務局	4 諸連絡
事務局	5 閉会